



主成分	：植物抽出物（とうもろこし抽出成分） 窒素全量（1.0%） リン酸全量（0.3%） 加里全量（2.8%） その他：マグネシウム、マンガン、ホウ素
規格	：1.1kg/ ボトル（1L）
法的区分	：肥料（液状複合肥料）

[ハーモザイムとは]

とうもろこし抽出成分などの植物抽出液が主成分の葉面散布用肥料です。

『ハーモザイム』に含まれる植物由来の成分が作物に活力を与え、健全な開花・結実、果実の肥大を促進し、収量増に貢献します。

また連続的に施用することで、成り疲れ時期の収量を確保することがわかっています。受粉昆虫、天敵製剤、微生物製剤にも優しい安全・安心の葉面散布用肥料ですので、これらと組み合わせることで、総合的作物管理（ICM）が可能となります。

[ハーモザイムの作用]

- ハーモザイムは植物の生長点組織の細胞分裂や細胞伸長に刺激を与えます。
- 健やかで多数の花芽ができるような細胞分化を誘導し、結果的に多数の果実を实らせませす。
- 果実の肥大期にハーモザイムを散布した場合は、表皮細胞の形成を促し、大きくて均一な果実を増やします。
- 光合成や、若い果実に集まる栄養分や炭水化物の輸送など、いくつかの重要な生理学的プロセスにもプラスに働きます。
- これら植物のポジティブな体質変化の結果、収量が増加するばかりでなく、品質と均一性が改善されます。

[特長]

- 着果率上昇、果実育成促進⇒果実の色づきを改善します。
- 花とびと落花を軽減。
- 根張りがよくなる⇒植物が長持ち、収穫期間が長くなります。
- 天候、物理的ストレスの悪影響を軽減⇒環境ストレス（気候、病害等）や成り疲れに対して強くなります。
- 増収、品質向上⇒1株当たりの果実数や秀品に仕分けされる果実数が増加します。



[使用方法]

※所定の倍率で希釈し、葉面散布してください。

※水量は一般農薬の散布水量に準じてください。

- ・使用例：10a 当たりの使用量は、本剤 100～300ml、水量 100～300L。

対象作物	希釈倍率	施用時期
果菜類	1000倍	最初の開花時期に第1回目の散布、その後2～3週間ごとに繰り返し散布
葉菜類		3回散布：2～3対の本葉が展開した後、2週間おきに散布（結球野菜は結球開始期まで）
果樹類（りんご、なし、もも、うめ、くり、かんきつなど）		2～3回散布：開花時、開花後（花弁脱落時）、幼果期に散布
ぶどう		3回散布：開花初期、結実後、肥大期初期
豆類（えんどうまめ、大豆、えだまめ、他）		1～2回散布：着蕾期から開花初期、その後2～3週間後
穀類		1～2回散布：分けつ終期、止め葉展開期

- 使用前によく振ってからお使いください。
- 使用量に合わせ散布液を調製し、使いきってください。
- 調製した散布液はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 高温時には、日中の散布をさけてください。